

## 基本方針 4 経済産業分野

～魅力と活力にあふれ、

賑わいが生まれる産業のまち～

4-1 産業連携・雇用	★4-1-1 産業連携の推進と投資意欲の醸成	〇〇-〇〇
	★4-1-2 雇用機会の拡大と就業環境の充実	
	★4-1-3 移住・定住の促進	
	★4-1-4 企業誘致の推進	
4-2 港湾	4-2-1 港湾機能の整備促進	〇〇-〇〇
	4-2-2 商港区の利用促進	
	4-2-3 臨海地区の土地利活用	
4-3 商工業	4-3-1 商工業の活性化	〇〇-〇〇
	★4-3-2 中小企業振興と創業支援	
4-4 観光	★4-4-1 魅力ある観光地の形成	〇〇-〇〇
	★4-4-2 魅力ある地域資源の活用	
	★4-4-3 訪れやすいまちづくりの整備・充実	
	★4-4-4 新たな誘客への取り組み	
4-5 農林業	4-5-1 農業基盤の整備	〇〇-〇〇
	★4-5-2 農業所得の向上	
	★4-5-3 農業経営者の育成・支援	
	★4-5-4 森林の整備と経営の安定化	
	4-5-5 林産物の利活用の推進	
4-6 水産業	4-6-1 漁業基盤の強化	〇〇-〇〇
	★4-6-2 水産業経営の安定化	
	4-6-3 水産資源の保護・育成	

ウポポイの開設を契機として、多くの観光客を受け入れる体制づくりが急務となっており、現在、異業種間による産業連携や、観光振興のけん引役である地域DMOを主軸とした地域内連携の促進が求められています。

また、ウポポイの集客力を期待した新規起業の動きや、空き店舗等の既存ストックの活用も活発化していることから、この動きを促進させるための総合的な支援の充実が求められます。

近年、本町においては企業が求める人材と求職者の希望する職種のミスマ

ッチ等を理由に、人材不足が慢性化しています。

町内では、若い世代が望む雇用形態や職種が少なく、新規学卒者をはじめとする若い労働力が町外へ流出しており、定住が進まない状況にあります。

これからは、若者が求める魅力的な雇用の創出のほか、UIJターンの推進による関係人口の拡大等に努めていく必要があります。また、人材不足による外国人労働者を雇用する動きも高まってきていることから、制度の啓蒙が求められています。

## 働きたい人が求める、多くの雇用の場があり、安心して働くことができるまち

地元で安心して働く場所がたくさんあり、若い労働力が還流するまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

- ◆自らの能力を十分に発揮し、安心して働くことができる雇用環境が充実していると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

51.0%

目標値(令和9年度)

57.0%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

- ◆立地企業件数(延べ)

現状値(令和元年度)

32件

目標値(令和9年度)

34件

## 基本事業

### 事業：4-1-1 産業連携の推進と投資意欲の醸成

創業支援計画の策定により、総合的なサポート体制を構築し、町内での投資意欲のある創業者を継続的に輩出・支援していきます。また、白老立地企業連絡協議会等による異業種間の産業連携や、観光を主軸とした地域DMOによる地域内連携を強化し、経済循環を促進させます。

### 事業：4-1-2 雇用機会の拡大と就業環境の充実

働く意欲があるすべての人が希望と適正に応じた職に就くことができるよう、ハローワークや関係機関と連携を図りながら、就労機会の確保と職業能力の向上を支援します。また、働き方改革による労働条件の改善のほか、定年延長や再雇用による高齢者雇用、外国人技能実習生の活用等を図るなど、安定的な人材確保に努めます。

### 事業：4-1-3 移住・定住の促進

しらおい移住滞在交流促進協議会と連携し、首都圏での移住相談会への参加やホームページの充実などにより、本町に対する理解を深める取り組みを推進するとともに、移住希望者に対する住まいや仕事に関する情報提供、相談体制の充実を図り、移住・定住の促進や関係人口の増加につなげていきます。

### 事業：4-1-4 企業誘致の推進

町内工業団地等への企業立地を推進するため、首都圏企業に対して本町の持つ特性や地理的優位性を積極的にPRするとともに、立地企業に対する各種支援制度の利用促進や相談業務などアフターフォローにも努めます。

## 個別計画等

計画名	計画期間
白老町創業支援計画	令和2年度～令和6年度

白老港は、昭和57年の新規着工以来、背後圏企業の原材料及び製品等の流通に貢献する拠点港として、さらには沿岸で展開される水産活動の基地として、地域の産業・経済に密着した重要な役割を果たしています。

現在は、第3商港区の一部が供用開始となっていますが、防波堤等が未完であり、港湾内の静穏度が保たれていないことから、早期の整備促進が求められています。

一方、漁港区においては、漁船の大型化が進み、係留施設の狭隘化が課題

となっています。さらには、主力貨物である砂の取扱量の減少が今後予測されることから、新規貨物の開拓が求められています。

これからは、第3商港区の優位性を高めるための港湾利用を伴う企業誘致や大型クルーズ船の誘致活動等、港湾施設の更なる利用促進に向けた事業展開が求められます。

## 港のもつ機能をフルに活かし、 海の玄関口として発展するまち

港湾機能の強化により、道央圏の物流拠点として、さらには、町民の憩いの場として地域が賑わうまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

- ◆地方港湾白老港が整備され商港区や関連施設の利用が促進されていると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

50.7%

目標値(令和9年度)

56.7%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

- ◆取扱貨物量の実績

現状値(令和元年度)

122万t

目標値(令和9年度)

140万t

#### 2. 成果指標【まちづくり指標】

- ◆クルーズ客船、大型貨物船の年間寄港回数

現状値(令和元年度)

0隻

目標値(令和9年度)

4隻

## 基本事業

### 事業：4-2-1 港湾機能の整備促進

物流拠点としての機能を強化するため、第3商港区の静穏度向上に向けた島防波堤の整備を促進するとともに、白老港維持管理計画に基づいた適切な維持管理に努め、港湾施設の長寿命化を図ります。

### 事業：4-2-2 商港区の利用促進

港湾利用の促進により地域経済を活性化するため、企業誘致とタイアップした新規取扱貨物の開拓に努めるとともに、**民族共生象徴空間「ウポポイ」**の開設をセールスポイントとして、クルーズ船の誘致に努めます。

### 事業：4-2-3 臨港地区の土地利活用

白老港臨港地区の有効利用を図るため、公共工事ヤードとしての貸し付けや、港湾利用を伴う企業誘致活動を行うとともに、親しまれる港として朝市や各種イベントを開催し、憩いの場の創出に努めます。



(クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」寄港)



(紙製品荷役)

## 個別計画等

計画名	計画期間
白老港港湾計画基本構想	平成17年度～
白老港維持管理計画	平成25年度～令和33年度

## 現状と課題

町の活力を維持・向上させていくためには、町内の経済活動の活発化が重要です。商工業の振興のため、商店街や商工会などと協力して市街地の活性化に取り組むとともに、中小企業や個人事業者の経営安定、投資意欲を促す施策が求められています。

近年、ウポポイの開設を好機として取り組んできた創業支援制度等が功を奏し、これまでに数多くの新規出店がみられたほか、白老駅北観光商業ゾーン（ポロトミンタラ）の開発も進み、商工業の活性化がみられます。

一方で、インターネット等による通信販売や、ネットショッピングなど、買い物の多様化が進み、さらには、経営者の高齢化による後継者不足も相まって、空き店舗の常態化がみられます。

これからは、事業者に対する金融支援や様々な課題解決に向けた総合的な支援体制づくりを進め、商工業のさらなる活性化に取り組む必要があります。

## めざす姿

## 商店街に多くの人が集まり、 にぎやかで活気のあるまち

中小企業の活発な事業展開により、稼ぐ力を生み出し、地域経済の活性化を図ることで、中心市街地が大いに賑わうまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

◆新規企業の誘致や地域資源を活用した商品開発が推進されていると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

44.3%

目標値(令和9年度)

50.3%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

◆製造品出荷額

現状値(令和元年度)

625 億円

目標値(令和9年度)

633 億円

#### 2. 成果指標【まちづくり指標】

◆新規創業支援件数(延べ)

現状値(令和元年度)

4 件

目標値(令和9年度)

12 件

## 基本事業

### 事業：4-3-1 商工業の活性化

購買力の流出抑制や来訪者の増加を見据えた町内消費の拡大を図るため、既存商店街の活性化策や、白老駅北観光商業ゾーン基本計画に基づいた振興策等に取り組み、商工業の活性化による稼ぐ力の創出に努めます。

### 事業：4-3-2 中小企業振興と創業支援

中小企業や個人事業者の経営安定を図るため、商工会など関係機関との連携により各種融資制度や助成制度の充実に努めるとともに、起業意欲を喚起するため、創業支援計画を策定し、支援メニューの拡大を推進します。



(創業支援実績店舗)



(インフォメーションセンター)

## 個別計画等

計画名	計画期間
白老駅北観光商業ゾーン基本計画	平成30年度～
白老町創業支援計画	令和2年度～令和6年度
先端設備等導入計画	平成30年度～

現状と課題

観光は、交流人口の増加や地域経済の活性化をもたらす産業として期待されており、関係機関・団体と連携し、その強化に取り組んでいます。

本町においては、ウポポイを町内観光の起爆剤として作用させるため、白老観光協会が観光振興の総合的な役割（地域DMO）となっており、町内への**周遊性**を高める取り組みを進めています。

また、ウポポイへの来訪者100万人の達成につなげるためには、観光資源の魅力向上と着地型観光の推進が不

可欠であり、効果的な情報発信と外国人を含む観光客の受入体制の充実が求められています。

加えて、観光リピーターを増やすため、おもてなしの精神の醸成と、多様化する観光ニーズへの対応力の向上が求められます。

これからは、ウポポイの開業効果を町内全体に波及させ、観光を主軸とした地域産業の活性化に努めていく必要があります。

めざす姿

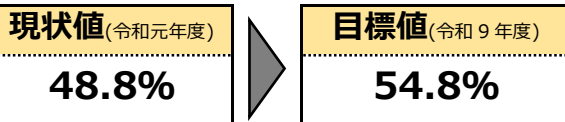
## 自然や歴史、食、温泉など、 白老の魅力を求め、何度も訪れたいまち

地域資源を最大限に活かし、おもてなしの心をもって迎え、何度も訪れたいと思ってもらえるまちを実現します。

### 将来の目標

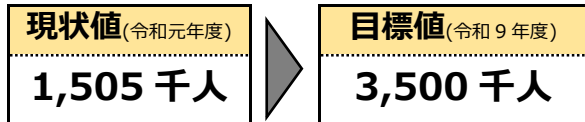
#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

◆おもてなしと思いやりの心あふれる受け入れ体制が充実していると感じる町民の割合



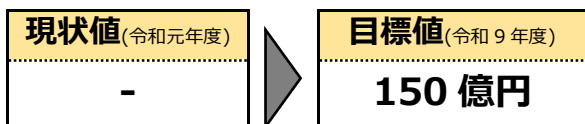
#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

◆観光入り込み客数



#### 2. 成果指標【まちづくり指標】

◆観光消費額





## 基本事業

### 事業：4-4-1 魅力ある観光地の形成

ウポポイの開設を契機とし、観光地としての魅力を向上させるため、白老観光協会が地域DMOの取得を目指すほか、関係機関との連携により、町内の周遊性を高めるための施策を展開します。

### 事業：4-4-2 魅力ある地域資源の活用

豊富な食材やアイヌ文化を取り入れた商品開発・飲食の提供のほか、自然景観の保存・整備、温泉資源の利活用など、本町の持つ魅力ある地域資源を活用し、地域価値を高める取り組みを推進します。

### 事業：4-4-3 訪れやすいまちづくりの整備・充実

多様化する観光ニーズに応えるため、観光インフォメーションセンターを拠点とした町内の周遊性を高めるための情報発信やガイド人材の育成、交通アクセスの整備のほか、宿泊施設、飲食店、土産品店等、民間事業者の参入促進等に努めます。また、外国人観光客の増加に備え、多言語対応やキャッシュレス化、観光地のバリアフリー等にも取り組みます。

### 事業：4-4-4 新たな誘客への取り組み

地域DMOの本登録を目指す白老観光協会が中心となり、観光客動向調査や観光ニーズの把握等に努めるとともに、旅行商品の販売や、アクティビティ（屋外での遊び）の充実、教育旅行の誘致、アイヌ文化を取り入れた商品開発、販売等に取り組みます。

## 個別計画等

計画名	計画期間
(仮称) 白老町観光振興計画	令和2年度～

第4章

基本施策 **4-5 農林業**

現状と課題

農業者の高齢化や減少、後継者不足、耕作放棄地の拡大、農業生産基盤の維持管理コストの増大等、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

農業の持続的な発展を促すためには、農業生産基盤の整備や、経営体質の強化、農業後継者の育成等に取り組んでいかなければなりません。

また、農業者の所得向上を図るためには、6次産業化や農商工連携を推進し、加工品の生産、開発により付加価値を高め、ブランド力を強化することが求められます。

近年、大規模施設栽培による耕種農業の取り組みが進む一方、エゾシカの生息頭数の増加による農業被害が課題となっており、被害防止、資源保護のためにも、個体数の調整が必要となっています。

林業においては、木材価格の長期低迷、採算性の悪化に伴い、森林所有者の経営意欲が減退し、放置されている森林が目立っています。林業の担い手の育成、林道整備、間伐などに取り組み、森林の持つ多面的な機能の維持・回復に努めていかなければなりません。

めざす姿

**農林業の担い手が育ち、未来につづくまち**

農林地の保全と有効利用が進み、意欲ある担い手が生まれ、稼ぐ農業を実践しながら、未来に続くまちを実現します。

将来の目標

**1. 町民満足度【町民意識調査】**

◆安全安心な生産体制の確立や農業経営の強化、森林の整備・保全が促進されていると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

52.6%

目標値(令和9年度)

58.6%

**1. 成果指標【まちづくり指標】**

◆農林業従事者数

現状値(令和元年度)

463人

目標値(令和9年度)

500人

**2. 成果指標【まちづくり指標】**

◆特用林産物生産量

現状値(令和元年度)

2,079 t

(H28~30 平均)

目標値(令和9年度)

2,079 t

## 基本事業

### 事業：4-5-1 農業基盤の整備

農業者が安定的、効率的に生産できる体制を整えるため、ほ場、農道等の基盤整備を行うとともに、計画的な土地利用と優良農地の保全を推進します。また、野生鳥獣の駆除や防除施設の設置への支援等にも取り組みます。

### 事業：4-5-2 農業所得の向上

農業経営の発展・改善を目的に作業の機械化による省力化及び低コスト化を図り、生産性の向上と合理化を進めます。また、消費者における食の安全・安心や地産地消意識の期待に応えるため、生産者の顔が見える安全・安心な農畜産物の提供に努めます。さらに、6次産業化による農畜産物の付加価値向上や、特産品PRによるブランドイメージの推進、グリーンツーリズムの推進による交流人口の増加等により、販路拡大に努め、農業所得増による経営の強化に取り組みます。

### 事業：4-5-3 農業経営者の育成・支援

就農希望者に対する啓発・相談活動をはじめ、就農準備から就農後の経営確立までの継続した支援を行い、新規就農者の育成・確保を図ります。また、持続可能な営農体制を構築するため、農業経営の法人化や担い手による農地の集積・集約化を促進させます。

### 事業：4-5-4 森林の整備と経営の安定化

森林の持つ多様な公的機能を発揮するため、「森林整備計画」に基づく総合的な森林整備を図るとともに、関係団体との協働による環境共生型の森林づくりを推進します。また、持続可能な森林経営の促進を図るため、森林施業の集約化のほか、林道や林業機械等の整備を推進するとともに、林業従事者の担い手確保等に取り組み、経営の安定化に努めます。

### 事業：4-5-5 林産物の利活用の推進

木材、間伐材の利用・流通を促進するとともに、しいたけや木炭などの特用林産物の産地力向上や、公共建築物等への地域材の利用促進等を図り、林業の振興に努めます。

## 個別計画等

計画名	計画期間
白老町農業経営基盤強化促進基本構想	平成29年度～
白老町農業振興地域整備計画	平成21年度～（随時更新）
白老町森林整備計画	平成28年度～令和8年度
農村滞在型余暇活動機能整備計画	平成31年度～
白老町肉用牛生産近代化計画書	平成28年度～令和7年度
白老町鳥獣被害防止計画	平成31年度～令和3年度
白老町緊急捕獲等計画	平成31年度～令和3年度
白老町地域材利用推進方針	平成23年度～

現状と課題

魚価低迷が続くなか、資材及び餌代、燃料価格の高騰により漁家経営が苦しくなっています。また、組合員の高齢化と担い手不足も相まって、漁業者の減少に歯止めがかからず、本町の水産業を取り巻く環境は、より一層厳しくなっていることから、漁協等関係機関との連携による水産業支援体制の強化が求められています。

近年の海水温の上昇により、回遊性魚種の水産資源が減少するなか、本町においても秋サケやスケトウタラ等の漁獲量が減少傾向にあり、今後安定した漁家経営を維持するため、資源管理

型漁業や栽培漁業を推進していく必要があります。

水産加工業については、たらこの製造が中心であります。原料となるスケトウタラの漁獲量の減少や、輸入水産加工品の増加等の影響を受けて厳しい経営環境に置かれています。水産業経営の安定化を図るため、消費者ニーズに対応した商品開発や地域ブランドの推進が求められています。

めざす姿

## 水産資源の育成と活用により、 安定した経営ができるまち

意欲ある担い手を育み、水産物を安定的に生産・漁獲し、経営の安定化が図れるまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

◆ 装備・機械の近代化や担い手の育成、漁場など生産基盤の整備がされていると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

54.9%

目標値(令和9年度)

60.9%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

◆ つくり育てる漁業の生産額

現状値(令和元年度)

108 百万円

目標値(令和9年度)

190 百万円

#### 2. 成果指標【まちづくり指標】

◆ 新規就業者数(延べ)

現状値(令和元年度)

2 人

目標値(令和9年度)

16 人

## 基本事業

### 事業：4-6-1 漁業基盤の強化

漁業生産基盤の強化を図るため、関係機関と連携しながら、狭隘化に伴う係留施設の増設や、屋根付き岸壁の整備等、漁港施設の機能保全・強化を促進させるとともに、後背施設についても計画的な整備促進を図ります。

### 事業：4-6-2 水産業経営の安定化

漁協等関係機関と連携し、経営合理化や生産性を向上させる取り組み等を支援することで漁業経営基盤を強化し、漁家所得の向上を図ります。また、水産加工技術の高度化による付加価値向上対策の促進や次世代の担い手確保、人材育成を進め、活力のある漁業、水産加工業の確立を図ります。さらには、白老産水産物の普及宣伝や地域ブランド化の推進、多様な販売戦略の展開等に努め、販路開拓・消費拡大による経営の安定化を進めます。

### 事業：4-6-3 水産資源の保護・育成

回遊性魚種の安定した生産を確保するため、適切な資源利用や秩序ある操業による漁獲管理に取り組むとともに、根付資源に対する資源管理型漁業の促進や、栽培漁業の振興に努め、水産資源の保護・育成を図ります。また、有害生物であるヒトデ等の駆除を促進させるとともに、漁具等に被害を及ぼすサメの有効活用化についても推進します。

## 個別計画等

計画名	計画期間
浜の活力再生プラン	平成31年度～令和6年度
登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン計画	平成18年度～

